「組合員の笑顔」が広がる「協同」の素晴らしさを伝える広報誌

晴ればれ

hare bare

2022
8
vol.28

晴れびと！
特産キュウリに賭ける新規参入の呼び水に

特集
今こそ対話
地域になくてはならないJAへ

ワクワクする農業と地域の未来を
JA晴れの国岡山

中央は町内最大の50aのキュウリ畑。左奥に見えるのがJR津山線の神目（こうめ）駅付近

晴ればれ 8月号
2022 vol.28

Contents

2— ソラサンぽ
久米郡久米南町

4— 晴ればれ特産品
「キュウリ」久米南キュウリ部会

5— 晴れびと！
久米南キュウリ部会 木戸 孝明さん 純子さん

6— 特集
今こそ対話 地域になくてはならないJAへ

10— 直売所名物を食べよう
推し名物まつり 第16回山手直売所「ふれあいの里」／総社市岡谷

12— 家庭菜園
ブロッコリー

14— 晴ればれTOPICS
・出荷者に「農薬ハンドブック」
・オリジナル「バームクーヘン」発売
・地域貢献活動の紹介 ほか

18— 農業にエール 地域を元気に！
未来を拓く協同組合／あぜみち川柳

20— JAからのお知らせ／フレッシュ通信
いちばなし／くらしのお得情報
役員がおじゃまします

22— みんなのひろば／クロスワードパズル
読者プレゼント

24— 笑味ちゃんクッキング
キュウリ漬け キュウリの佃煮

表紙を空から望む ―― 久米郡（くめぐん）久米南町（くめなんちょう）

自然と文化に恵まれる 農業盛ん 移住者が増加中

県のほぼ中央に位置し、法然上人ゆかりの誕生寺をはじめ、自然と文化に恵まれた町です。川柳とカッパとキュウリで知られています。中心を南北に国道53号とJR津山線が縦断。岡山市や津山市をはじめ県内各地へのアクセスがよく、都市と自然がほどよい距離にある住みやすさが魅力となっています。

古くから水田農業が営まれ、町内には農林水産省が認定した「日本の棚田百選」を有します。近年は野菜やブドウなどの畑作も発展し、主産業となっています。行政とJA、農家が連携して農業振興に取り組み、キュウリ・ユズ・イチゴなど特産品の栽培も各地で見られます。

ブドウやキュウリを栽培する町外からの新規参入者も増加。農家が集まる農業集落ができ、ブドウ農家の約半数が新規就農者となるなど活性化につながっています。

最寄りのJA店舗

ファーマーズマーケット「サンサンくめなん」

国道53号沿いの道の駅「くめなん」に併設。町の特産や野菜などが朝早くから並び人気となっています。夏から秋にかけてキュウリやブドウの充実した品ぞろえが魅力です。

共同選果で品質を揃えて出荷（久米南町で撮影）

仲間が増え共同選果で産地に活気 県産7割を

太さや長さ、曲がりを判断して8等級に分けて出荷する

久米南キュウリ部会は、充実した共同選果体制をいかして生産拡大を進め、出荷量を伸ばしています。JA合併を契機に隣の勝英地区と共同選果してロットを拡大しているほか、新規参入者の確保や規模拡大にも取り組み、今年は生産者8人増の53人が約6ヘクタールで栽培。岡山市場を中心に過去最高の600トンの出荷を見込み、販売高2億円の達成にむけて津山統括本部管内の主軸を担います。

共同選果を一手に担うのがJAの久米南選果場です。カメラ搭載の自動選別機を備え、太さや長さ、曲がりなどを瞬時に判断して8等級に分けます。生産者は適期に収穫して全量を持ち込むだけでよく、専業化や大規模化につながっています。志部健一部会長も「肥培管理に専念でき、最盛期には朝夕1日2回の収穫に手が行き届く」と実感します。

今年は平年並みの6月から出荷が本格化しています。春からの好天により十分な日照時間を確保し、ハウス・露地ともに順調な生育ぶりとなりました。適正なかん水を徹底し、品質の揃いも良好といいます。志部部会長は「コロナ禍で厳しい販売が続いていた。今年こそ消費回復を願い、出荷量・販売額ともに巻き返したい」と期待を込めます。

津山統括本部

久米南キュウリ部会

（生産者53人・約6ヘクタールで栽培）

特産キュウリに賭ける 新規参入の呼び水に

10a当たり13tの出荷を目指し、夏秋キュウリの収穫に励む

キュウリの生産量が県内トップの産地をけん引する木戸孝明さん。ハウスと露地を組み合わせた夏秋栽培で長期取りを追求し、ひたむきな姿が新規参入者の呼び水となっています。5年目の今年は10アール当たり13トン取りを目標に6月から出荷を本格化させました。

大阪からIターンで就農。サラリーマンをしていましたが、「田舎に移住しようか」と軽い乗りで妻の純子さんと意気投合し、住みやすそうな印象を受けた久米南町を選びました。ベテラン農家の下で栽培を学び、可能性を感じて翌年、本格的に栽培を始めました。

1年目は、出荷期間が2ヵ月ほどにとどまり、施肥やかん水の難しさを痛感しました。マニュアルと講習会を頼りに試行錯誤を重ね、昨年は部会の目標である10アールあたり10トンを超えました。「先輩農家には〝木と会話できるようになれ〟と教えられるが、まだまだ経験が足りない」と気持ちを奮い立たせます。

今年は18アールで定植を3回に分け、JAの共同選果を利用し、作業分散と省力化することで、10月までの収穫を見込みます。

励みとなっているのが若手農家の参入。部会の栽培講習会や相談会を意欲的に受け入れ、頼られる存在となりました。横のつながりをいかして新技術や低コスト化を探ります。

資材高騰やコロナ禍で先行きに不安を抱きながらも、木戸さんは「仲間と産地を活性化したい」と展望します。

ハウスと露地を合わせて18aで栽培。10月まで長期取りできる体制を整える

今こそ対話

地域になくてはならないJAへ

～不断の自己改革さらに～

合併後初めて総代を招集して開いた第3回通常総代会

JAは、不断の自己改革の着実な実践にむけ、新たな中期経営計画を策定しました。

これまで以上に地域になくてはならないJAであり続けるため、協同組合運動の原点である「対話」に立ち返ります。正組合員との対話や座談会にとどまらず、准組合員、さらには直売所の利用者・広報誌の読者などの意見もふまえ、組合員のニーズを広く把握することでJA運営への意思反映に取り組み、持続可能な「農業所得の増大と農業生産の確立」「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。

合併後初めて開いた8地区統括本部運営委員会をはじめ、第3回通常総代会、17会場での座談会などでは、JA運営・事業のあり方、将来の地域農業に対する思い・直面する課題などさまざまなご意見をいただきました。その一部をQ&A方式で紹介し、JAの取り組むべき姿をお伝えします。

2022年の対話活動の実施状況

3月～4月

統括本部運営委員会

場　所：管内8ヵ所
出席者：統括本部運営委員など326人

6　月

総代事前説明会・地区別座談会など

場　所：管内17ヵ所
出席者：総代など570人

6月28日

通常総代会

場　所：マービーふれあいセンター（倉敷市）
出席者：総代955人（本人出席393人、代理出席1人、書面561人）

持続可能な「農業所得の増大と農業生産の確立」

総代の挙手による議案の採決

Q 輸出に向けた販売を強化してほしい

A 岡山県の果物は、ブランドとして国内外で高く評価されています。JAが直接（直営として）農畜産物の輸出を手掛けていないのが現状ですが、行政やJA全農、市場など関係機関と一体となったPR活動や販路拡大に取り組み、主力のブドウ・モモを中心に台湾や香港などでの輸出拡大を進めています。JA全農おかやまによれば、令和3年度は県産ブドウ・モモが輸出量466t（前年対比109%）、輸出額10億1,500万円（同112%）と、右肩上がりで伸びています。引き続き、流通事業者との信頼関係を生かしながら国内外でのブランド力強化と販路拡大に取り組むとともに、米・牛肉も含め広い視野で輸出を促進していきます。

Q 米価下落に生産資材の高騰が追い打ちをかけ、生産意欲が下がっている。農家経営を支えるための具体的な施策は

A 肥料価格はこれまでに経験のないほど高騰し、JAとしても仕入れ業者と交渉を重ねてきたものの、原料の国際市況が軒並み市場最高値まで上昇、円安なども影響し、値上げせざるをえない状況であり、7月4日にやむなく価格を改定しました。それでもJA合併のスケールメリットを生かした銘柄集約により、化成肥料は平均40%（JA全農の値上げ基準55%）の上昇に抑えました。各予約注文書でご購入いただくと当用価格（店頭売り）より安くお買い求めいただけます。予約数量の積み上げを元に仕入れ業者とのさらなる価格交渉に生かしていきたいと考えています。

Q 米価下落で大きな打撃を受けている。今後誰が、どのようにして農地を守るのか。JAも行政と連携し、対策を講じていく必要があるのでは

A 集落営農組織などの立ち上げのほか、JAの一部地域ではありますが、直接農業経営を実施するなどして、農地を守るほかないと考えます。
昨今の米価下落により一部市町村からも支援金・助成金が交付されていますので、今まで以上に行政と連携しながら取り組みを進めます。

意見を述べる総代

Q 農事組合法人・営農組合・大規模農家などの担い手が耕作できなくなった時の対応は

A 地域性はあるものの広域重点品目の生産振興を図りながら産地リーダーなど生産者組織の連携強化と後継者の育成に取り組みます。
そのほか農作業の省力化や効率化に資するICT（情報通信技術）、省力栽培に関する新技術の導入にも積極的に取り組みます。

Q 新規就農者に対する取り組み、支援は

A 農業後継者の確保・育成が大きな課題となっている中、JAグループ岡山と連携を図りながら、① 就農相談・研修制度の創設などの就農斡旋 ②品目別生産部会への加入促進、加入による現地研修などの技術指導 ③労働力が不足する中、機械などの利用斡旋による労働力軽減 ④農産物の系統組織力をいかした有利販売 ⑤起業の際に必要な資金融通など、それぞれ必要な支援を行います。

Q 現在の米価では、後継者がますます少なくなり、生産意欲の低下を懸念する。JAとしても生産者の気持ちになって販売を進めてほしい

A これまでJAでは系統組織力を中心に米の販売に取り組んできましたが、昨年度からは独自ブランド「元気玄米」や「農協精米」など、JAが直接販売する新たな方式も取り入れました。米の販売交渉にあたっては、JAが取り扱うロットによっても大きく左右されますので、今まで以上にJAへの出荷にご協力ください。

持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」

Q アクティブメンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業活動に参加すること）の進め方は

A 准組合員を「地域農業を支える農業振興の応援団」と位置づけ、モニター制度などを活用した「JA事業の理解と利用」を通じ、その意思反映ができる仕組みづくりを進めます。

Q 6次化商品の開発への取り組みは

A 准組合員モニターなどからの意見を参考に、既存商品のPRはもとより農畜産物を活用した6次化商品の開発にむけて検討します。（P14～P15, P 23に関連記事）

不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

Q 自己改革はいつまでに成し遂げるのか

A 自己改革に終わりはなく、常に組合員ニーズと社会動向を注視しながら改革する必要があります。ただし、重点取組事項に掲げた各項目に対しては、2022年度を起点とする3ヵ年計画のなかで積極的に取り組みます。

Q 支店統廃合で非常に不便になる。地形・地域性を考慮しながらJA離れが進まないよう、再検討を含め慎重に進めてもらいたい

A 支店統廃合は、地域性を十分踏まえたうえで検討し、組合員・総代のみなさまに丁寧に説明しながら進めたいと考えています。統合後は、出向く体制を充実させ不便をおかけしないよう努めます。

Q 女性の総代比率15%をJAの努力目標としているが、本県の割合は全国43位。目標に近づけるよう検討してほしい

A 男女共同参画社会の基本理念は「自らの意思」にあると考えています。女性総代への積極的な立候補をお願いします。

Q 女性が参画できる体制をつくってもらいたい

A 男女共同参画社会基本法には、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、（中略）共に責任を担うべき社会」の形成を目的として定められています。JAとしても女性自らの意思により、社会の構成員となるための機会を作っていますので、積極的な参加をお願いします。

JA役員が各地に出向き実施した対話活動

「協同組合」としての役割発揮を支える人づくり

Q 組合員に「ありがとう」と言ってもらえるような仕事をしてほしい。JAを気持ちよく利用したいので、顧客満足度をもっと考えてもらいたい

A 食と農を基軸とする地域に根ざした協同組合として、地域から必要とされるJAであり続けるため、JAの役割と目的・存在意義などを認識し、組合員のニーズに応えられるよう階層別・事業別の職員教育・人材育成に取り組みます。

Q 農家とのコミュニケーションが取れていない。もっと接点をもってほしい

A 昨年度から統括本部を越えた「支店長研修会」を開き、人材育成をはじめ数々のテーマに基づき意見を交換しています。研修会では優良取組事例の発表など、横展開にむけ情報の共有を図っています。組合員・利用者から期待され求められる人材の育成に取り組み、コロナ禍で訪問活動が制限される中ではありますが、組合員とのコミュニケーションづくりに努めていきます。

Q これまで以上に生産者と指導員が連携し、産地形成できるよう営農指導体制の確立、指導員の育成・強化に取り組んでほしい

A 現在、JAでは営農指導員・農産物検査員・GAP（ギャップ）（農業生産工程管理）指導員など認証資格取得の奨励により専門能力を備えた人材を育成しています。このなかで営農指導員については、3ヵ年計画のなかで配置人員を数値化し、組合員・利用者の期待に応えられる体制を構築します。
JAの職員OBのほか、県農業普及指導員など、専門知識・経験を有する人材の登用により、スキル継承にも取り組みます。

「食」「農」「地域」「協同組合」にかかる県民理解の醸成

Q 学童農園を中心とした食農教育にも取り組んでもらいたい

A 現在、すでに実施していますが、地域に求められ、また次世代を担う子どもたちに「食」と「農」に関する教育を進めるため、管内各学校とも積極的に連携していきます。（P12, P18～19に関連記事）

総合事業の展開や地域活動を通じたSDGsへの取り組み

Q 環境問題に関し、一発肥料のプラスチック被覆の河川・海洋への流出対策は

A 代かき時の対策を啓発しているほか、今年度から環境にやさしい肥料「環境保全型緩効性肥料」を採用し提供しています。組合員みなさまにおかれても、一緒になって環境問題に対処いただきたいと思います。

晴ればれ hare bare

推し名物まつり

直売所名物を食べよう 第16回
総社市岡谷 山手直売所「ふれあいの里」

1本 550円

口どけなめらかなスポンジとミルククリームが食欲をそそる1本。

夏季限定！岡山県産のモモを使った季節商品をお見逃しなく。

「お菓子と雑貨 kaon」の店内。
古民家を改装したおしゃれな空間が魅力

地元のモモをコンポートにして入れています！

お菓子と雑貨 kaon 店主
阿部（あべ） 香織（かおり）さん

動画でも詳しく紹介しています！

お菓子と雑貨 kaon（カオン）
ロールケーキ

モモをいかした味のバランスとやさしい口どけにうっとり。

「材料にもこだわって丁寧に作られてるんですよ」と山手直売所「ふれあいの里」の大杉勲（おおすぎいさお）店長が推すのが、多くのファンを持つロールケーキです。毎日入荷されるにもかかわらず、すぐに売り切れてしまう人気ぶりです。

作り手は直売所の近所で「お菓子と雑貨 kaon」を経営する阿部香織さん。安全安心の素材でシンプルな味を届けたいという想いから、材料には純生クリームや国産小麦を選び、お菓子に使うジャムやコンポートは季節の果物から手づくり。おいしさだけでなく、阿部さんの食材に対するこだわりが詰まった逸品です。「成分表示シールに記載するものをできるだけ少なくしたいので、時間がかかっても、ほとんどの材料を自分で作るようにしています」と、手間を惜しまずお菓子づくりに取り組む姿に人柄が浮かびます。

夏季限定（8月末まで）で登場する「岡山県産桃のロールケーキ」に入るモモのコンポートももちろん手づくりで、岡山が誇るモモのおいしさがしっかり味わえるものをと工夫を凝らしています。風味豊かなミルククリームと口どけなめらかなスポンジ、そこにモモが絡み合う絶妙のバランス。「普段はケーキを食べないのにあっという間に1本平らげたという人もいる」という話も納得です。

季節やその日の条件で微妙に異なる焼き具合に合わせ、力加減などを調整しつつ巻き上げる

直売所でも販売するマドレーヌなどの焼き菓子

もっとお得な情報はWEBで公開中!

応援メッセージを送ってね!

「ふれあいの里」や「ロールケーキ」への応援メッセージを送っていただいた方の中から

抽選で3人の方に「kaon お菓子セット」プレゼント!!

ハガキ・FAX・応募フォームからご応募いただけます。

※ハガキ・FAXの場合、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、応募メッセージ及び「推し名物まつり応募」とご記入の上、P.23のクロスワードパズルと同じ宛先へご応募ください。

応募締め切り日 8/16(火)必着

応募や直売所情報はこちらから

くらしき作陽大学考案

OSHIMEIBUTSU Recipe! 名物を使ったイチオシレシピ!

ロールケーキパフェ

くらしき作陽大学 食文化学部 現代食文化学科
井手咲希(いでさき)さん・大塚智紘(おおつかちひろ)さん・鎌田茉優(かまだまゆ)さん 考案

●カロリー:344kcal　●食塩相当量:0.3g

【材料(1人分)】

ロールケーキ	1切れ(約50g)
バニラアイス	50g
オレンジ	15g
ホイップクリーム	5g
アーモンドスライス	適量
チョコソース	適量
レモンピール	適量

【つくりかた】

1. 盛り付け用カップにバニラアイスを入れる。
2. バニラアイスの上に皮をむいてカットしたオレンジを盛り付ける。
3. 2の上にホイップクリームをしぼる。
4. 1切れのロールケーキを半分に切り、盛り付ける。
5. ロールケーキの上に、アーモンドスライス・チョコソース・レモンピールをトッピングする。

ロールケーキの魅力についてお話しします。

くらしき作陽大学
食文化学部　栄養学科
大桑浩孝(おおくわひろたか)さん

モモの食物繊維とミネラルで、夏の疲れを吹き飛ばす!

ロールケーキは老若男女を問わず幅広い年齢層の方々に愛されている洋菓子です。

今回の商品は素材にこだわり、小麦粉は北海道産「ドルチェ」を使うことでふわふわ感を持たせ、純生クリームと岡山県産白桃で自然の甘さを引き出しています。夏の疲れを吹き飛ばしてくれる食感とサッパリとした風味が味わえます。

モモは食物繊維の一種であるペクチン、ミネラルの一種であるカリウムを多く含むため、整腸作用やむくみの防止、夏バテ防止が期待される夏に適した果実です。

ぜひご愛食ください。

山手直売所「ふれあいの里」

岡山県総社市岡谷23　☎0866-93-2338
営8:30~16:30(5月~10月)・8:30~16:00(11月~4月)
休第2・第4水曜日、年末年始(12月第4水曜日は営業)

産地と協力してブランド牛肉を販売。
なかなか手に入らなかった
「千屋牛®」「美星豚」も身近に!

夏には白桃やブドウ、トマトなどの夏野菜が充実しています!

木下善美(きのしたよしみ)・大杉勲(おおすぎいさお)・高本晃(たかもとひかる)
高林京子(たかばやしきょうこ)・川上智与(かわかみさとよ)・守安早苗(もりやすさなえ)

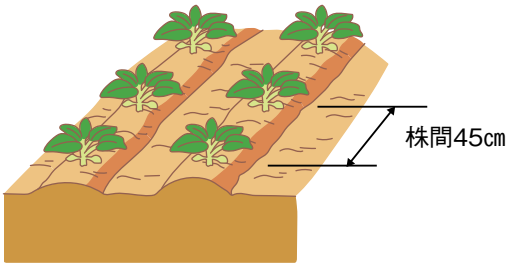
晴ればれ直行便

連日行列ができる名店のパンも入荷中!

JAならでは!JA直行便で管内各地の新鮮な特産をいち早くお届け!! 詳しくはホームページでご確認ください。

❸ 植え付け

株間45㎝程度に植え付ける。植え付け前には、
植え穴に十分かん水して植え傷みの少ないようにする。



深植えは禁物。
株元が少し高くなるように。

サンからのアドバイス

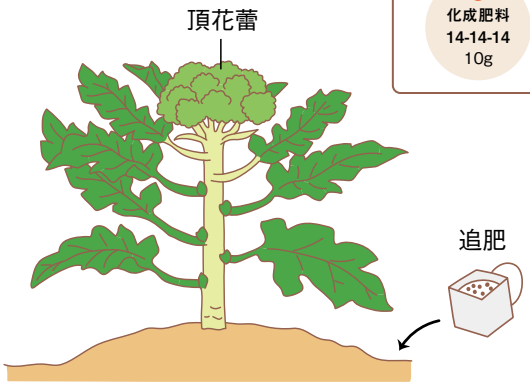
根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、畝は高くし、株元が低くならないように排水に注意しよう。

❹ 追肥

株元に化成肥料を施し土寄せする。

1回目	植え付けの20日後
2回目	花蕾が見える頃

1株あたりの量
❷ 化成肥料 14-14-14 10g



株の周りに追肥して勢いをつけ、
よい側花蕾を出させる。

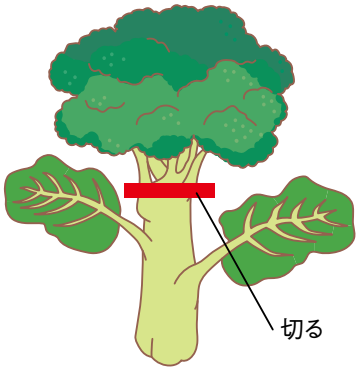
❺ 病害虫防除

ヨトウムシ・コナガなどがつきやすいので、早期発見に努め、
薬剤散布で防ぐ。

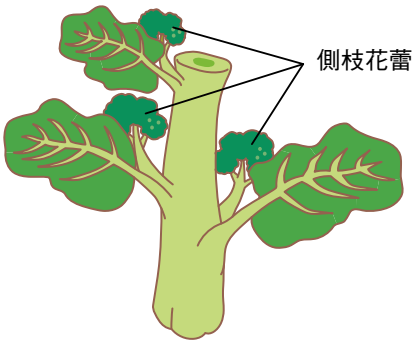
⚠ JAに相談して病状や品目に応じた適切な薬剤を選び、必ず商品のラベルや説明書に従い、適正に使う。

❻ 収穫

直径12～13㎝ぐらいになったら、包丁で切り取る。
茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減るので短く切り取る。



直径4～5㎝ほどで収穫する。
小さいがまとめて使えば味に遜色はない。



POINT

小さい蕾がはっきりと見え、固く締まった状態が収穫の適期。蕾の間に隙間が見えるようになったら取り遅れ。頂花蕾の収穫後、側枝から発生する小さい花蕾は、春まで取り続けることができる。

ホッチキスをはずして保存できます

左：立てた支柱にキュウリネットを張る学生
上：ミニトマトを誘引して2本仕立てに

ミニトマトの芽かきは脇芽が分からず、戸惑いながらもきれいに摘み取ることができました。誘引は結び方が複雑だったため、JAの営農指導員の方に詳しく教えてもらいました。
キュウリの整枝は、初のネット張りを体験。大変な作業ばかりでしたが、楽しく協力して取り組むことができ、とてもいい経験になりました。

食文化学部 現代食文化学科
塗野（ぬりの） 颯真（そうま）さん（1年）

しらしき作陽大学 はじめての野菜レポート
笑味ちゃん天気予報
毎月第4水曜日
18時50分～放送

材の選び方や使い方、栽培方法など詳しくは各店舗にお問い合わせください。**直売所の出荷者も募集しています!**

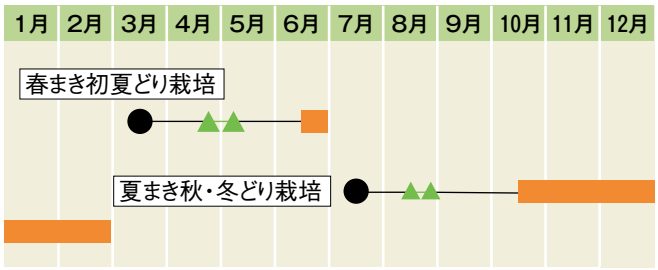
JA晴れの国岡山があなたの農業ライフを全力でサポート!!

作って食べて農業を元気に！ 家庭菜園

ブロッコリー

カロテンやビタミンB群が豊富

栽培スケジュール



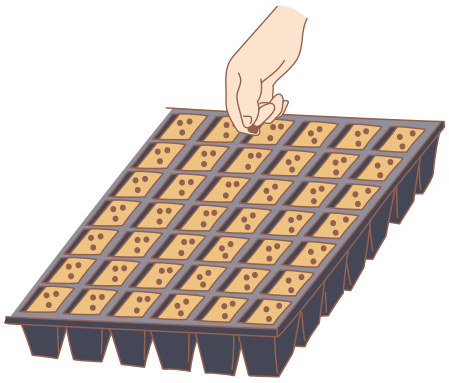
●種まき ▲植え付け 収穫

排水のよい畑を選び、元肥をしっかり施し、茎葉を大きく育てます。
害虫がつきやすいので、防虫ネットなどをかぶせて食害を防ぎましょう。

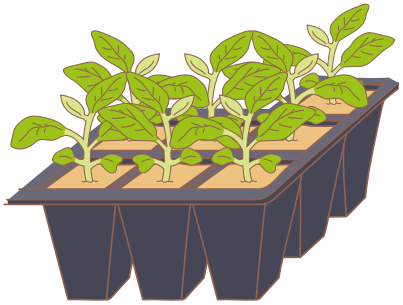
教えてくれるのはこの人!!
津山東部アグリセンター
あやべ ゆうじろう
綾部裕二郎

❶ 苗づくり

128穴のセルトレーにセル成型苗専用の土を使い、1穴に3～4粒まく。



育つにつれて間引いて1本立てにする。

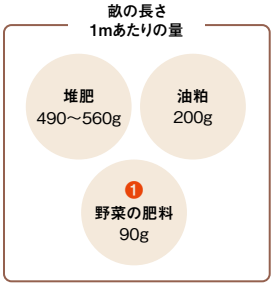


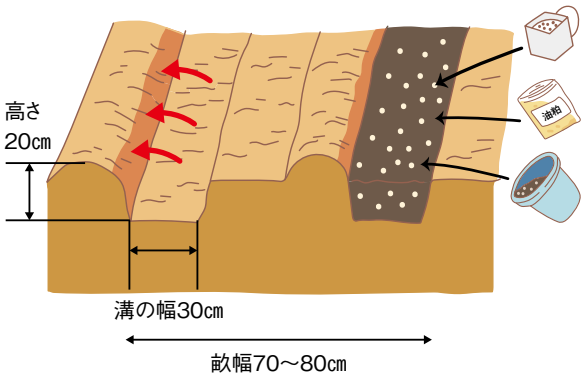
仕上がり苗
本葉3～4枚

❷ 元肥入れ

植え付け2週間前に1㎡当たり苦土石灰100gをまき、深く土を耕しておく。

植え付け1週間前に堆肥と肥料を施し、土を戻してよく混ぜ畝を立てる。





ポイント!
POINT
大きくて充実した花蕾をとるためには、元肥の堆肥・肥料を十分に与える。

ホッチキスをはずして保存できます

ソラからのアドバイス

夏まきの場合、苗を置く場所はできるだけ風通しのよい涼しい場所を選び、強光時にはよしず・ネットなどで遮光し、かん水不足にならないよう注意しよう。水やりはできるだけ午前中にしようね。春まきの場合、温度の確保が必要だよ。

■おすすめ資材

❶JA晴れの国岡山 オリジナル野菜の肥料

窒素・リン酸・カリに加え、微量要素をバランスよく配合し、野菜の元肥・追肥に幅広く使えます。

❷化成肥料 14-14-14

野菜・果樹・花など幅広く使えます。
高成分なので少量投入で経済的です。

ご相談・お買い求めはお近くの生産資材店舗まで… 地域によって取扱商品や栽培時期などが異なる場合があります。種苗・肥料・農薬など生産資

出荷者対象の講習会で「栽培ポイントも掲載されわかりやすい」と好評

12 つくる責任 つかう責任

出荷者に「農薬ハンドブック」大型直売所を見据え統一

JA統一版の「農薬ハンドブック」を発行しました。直売所間の産物交流「晴ればれ直行便」事業の拡大や2024年度の大型直売所開設を見据え、管内の直売所出荷者ら約7,800人に配布し、意識統一を進めます。

掲載の農薬は、広域に流通し適用作物の多いものから選定。1作物につき使用農薬は10品目以内とし、毒劇物は外しました。生産者の高齢化に配慮し、農薬集約によって作業・費用の負担軽減と農薬の誤使用の防止につなげます。少量多品目の生産者も多く、使用管理の負担を軽減し、生産意欲を高めます。一方でJAは管理の一元化・指導の一本化・広域物流の促進など相乗効果を見込みます。

営農担当の山本日吉(やまもとひよし)司常務は「安全安心な農産物を提供することはJAの責務。出荷拡大にもつなげ、消費者の確固たる信頼を高めたい」と力を込めます。

地域の情報をお届け!

晴ればれ TOPICS

JAはSDGsの達成に向けて取り組んでいきます

17 パートナーシップで目標を達成しよう

JAオリジナルアイス「じぇいえいらーと」新発売
こだわり抜いた特産と「濃厚なジャージー牛乳」が恋をした

JAは、特産とジャージー牛乳を使ったオリジナルジェラートの販売を始めています。真庭市のジェラート醍醐桜と共同開発。白桃、「作州黒豆きなこ」、久米南産ユズを使った3つの味を取り揃えました。

名称は「じぇいえいらーと」。ジェラートと「JA」をかけ、あえて平仮名で表記することで練れるほどの柔らかさと、親しみやすさを表現しました。

白桃味は、ペースト状の白桃をジャージー牛乳とともに攪拌(かくはん)。白桃を贅沢に使っているため、まるで白桃を食べているかのような味わいを実現しながらも、濃厚なジャージー牛乳の味も損なうことのない絶妙な配合を実現。無香料無着色で、素材本来の旨味を楽しめる高級感漂う逸品に仕上がりました。

「作州黒豆きなこ」味は特産「作州黒大豆」を使い、一般的なきな粉よりも強い香りとコクを感じられ、ユズ味も県内トップ産地の久米南町産を使い、サッパリとした風味が楽しめます。

同店は「白桃やジャージー牛乳など特産を一度に味わってもらえる。生果とはまた違う楽しみ方を体感してほしい」と話します。

将来的にはJAオンラインショップなどでギフト用として販路拡大を見込みます。(価格などはP23参照)

「じぇいえいらーと」をPRする関係者

15 陸の豊かさも守ろう

子実用トウモロコシ試験栽培 地域一体の取り組みで課題解決へ

奈義町の農業法人(株)ライスクロップ長尾は、JAやJA全農おかやまと連携し、子実用トウモロコシの実証試験に向け、栽培体系や収穫後の加工・流通などを確認する事前試験を始めました。5月下旬～6月上旬にかけて奈義町で播種。11月上旬に収穫して飼料用に加工し、地元の畜産農家へ供給を予定しています。

農水省によると子実用トウモロコシは、時間当たりの所得が高水準であるため、新たな水田転作作物として期待がかかっています。一方で、排水や鳥獣害対策なども考慮して事前試験を実施し、課題を洗い出します。

同社の長尾隆大(ながおたかとも)社長は「課題もあるが、地域一体となって解決策を見つけていきたい」と話します。

播種機で作業を実演

17 パートナーシップで目標を達成しよう

オリジナル「バームクーヘン」発売
白桃と、復興支援「真備の竹炭」

岡山市のバームクーヘン専門店オリジンとJAが共同開発した「白桃バームクーヘン」「真備の竹炭バームクーヘン」の販売が始まりました。

地元産にこだわった手づくりで、白桃味は県産白桃をミキサーで滑らかなペースト状に調整。万遍なく白桃の風味がするよう入念に手作業で攪拌し、一層一層丁寧に焼き上げています。白桃本来の芳香とバター風味を引き立てつつ、極上のしっとり感を残す芳潤な逸品です。

真備の竹炭味はプレーン生地に真備産竹炭を混ぜて生地を作り、約1㌢の層を生地の上に重ねました。しっとりと上品で滑らかな口当たりを実現し、プレーンと竹炭の味が口の中で絶妙に混じり合います。

JAは「年間を通じて特産を手軽に味わってもらい、地元企業と協働することで持続可能な地域社会・農業の実現に寄与できる」と力を込めます。（価格などはP23参照）

完成したバームクーヘンをPRするJA職員とオリジン店長（右）

コンニャクづくりを学ぶ部員

4 質の高い教育をみんなに

伝統食を次世代へ
女性部リーダー育成

びほく女性部は、伝統食を次世代に伝えるため、リーダーを育成する取り組みを始めました。5月に高梁市で教室を開き、部員15人がコンニャクと豆腐づくりに挑戦。部員は「飽食の時代で出来合いのものも安価で手に入るが、やはり手づくりはひと味違う。部員間や次世代に伝えられるようになりたい」と積極的に学びました。

蒜山三座を望むほ場で収穫する井藤部会長

12 つくる責任つかう責任

「ひるぜん大根」11月まで甘くみずみずしい仕上がり

真庭市で「ひるぜん大根」の出荷が順調です。JA蒜山大根部会協議会の9戸が14㌶で栽培。今シーズンは生育期に少雨傾向で、例年より5日ほど遅い出荷となりましたが、その後は生育が進み、出荷増を見込みます。井藤文仁（いとうふみひと）部会長は「例年通り、甘くてみずみずしくおいしく仕上がった」と自信をのぞかせます。

11月の寒締め栽培「蒜山こだわり大根」まで、岡山・大阪・鳥取の市場へ700㌧の出荷を目指します。

もっと身近にずっと愛されるJAへ

地域貢献活動の紹介

4 質の高い教育をみんなに　11 住み続けられるまちづくりを

学生向け交通安全教室
自転車もルールを守って

JAは警察と連携し、中高生を対象に自転車の交通安全教室を開いています。プロのスタントマンが一時停止の無視や傘差し運転など危険な走行による交通事故を再現し、事故の怖さや危険性を伝えています。

6月上旬に倉敷市内の高校で開き、生徒は「自転車は車両であり、加害者にもなることがわかった。ルールを守り、安全運転を心がけたい」と気を引き締めました。倉敷かさや統括本部の山部慎一（やまべしんいち）常務は「安全で事故のない地域社会の実現に向けて活動を続けていきたい。再現を頭に入れ、日頃から気を付けてほしい」と呼びかけました。

雨の日における周囲の確認不足による事故を再現

タマネギ生産拡大へ 調製選別を省力化

タッピングマシンで調整・選別を行う

矢掛町で、矢神毎戸営農組合（矢掛町）、奥山営農組合（笠岡市）、ファーム県主（井原市）が加工用契約タマネギの大規模栽培に取り組んでいます。3組合は、2021年7月に農業グループ「小田川鬼おん」を発足。6haで栽培しています。出荷調製作業はJAが導入した選別機械を利用。収穫から出荷まで鉄コンテナを一貫して通用し、効率化と省力化を実現しました。代表の髙月周次郎さんは「仲間を増やし、産地化を目指す」と意気込みます。

各地で学びと交流 女性大学で仲間づくり

全体のバランスを考えながら個性豊かに寄せ植えする部員

岡山西女性部は、今年度の女性大学を開講しました。手芸・料理・防災など、食と農と暮らしに関するテーマを中心に学びを深める活動で仲間づくりを進めます。

5月下旬には倉敷西ブロックの部員24人が、寄せ植えに挑戦。カーネーションやラベンダーなどを洋風バケットに植え、仲間と達成感を分かち合いました。部員は「新しいことを学んで伝えることで、地域を元気にしたい」と話しました。

大学生が農業応援団 栄養士養成で野菜づくり

営農指導員に教わり野菜の苗を植える学生（右）

くらしき作陽大学の栄養士養成にJAが協力し、農業の応援団を育てます。学内の畑で学生が1年を通じて野菜の栽培を体験。JA営農指導員のサポートで、エダマメ・トウモロコシ・キュウリ・ミニトマトなどを育て調理実習します。農業への理解を深め、食品ロス削減など持続可能な開発目標（SDGs）への貢献や地元産に目を向け、食のプロとしての実践力を身に付けます。5月下旬には、苗の植え付けや仕立て作業に汗を流しました。食文化学部の宮本拓学部長は「JAによる実践指導は、学生に専門的学習の動機づけと人間形成を育む」と期待します。

「カルストだいこん」 朝晩涼しく味よし

選果場で一本ずつ丁寧に水洗いして出荷する

新見市南部に広がるカルスト台地で、「カルストだいこん」の出荷が本格化しました。草間地区の3戸で構成する阿新大根部会が約3haで栽培。標高400mならではの昼夜の寒暖差、黒ボクといわれるきめ細かい土、春からの天候にも恵まれて上質に仕上がりました。小林幹夫部会長は「春まきダイコンは辛みが少なくみずみずしい味わいで生食に向く。サラダやおろしなどで楽しんでほしい」と話します。

集落の仲間と協同 タマネギ産地つくりたい

仲間との1枚

集落営農組合の仲間と一緒に大規模栽培に取り組んでいます！

県西部の矢掛町で代々続く農家の長男として生まれ、2020年に44年間の会社勤めを終えたのち、地元の農地と農業を守る集落営農組合に心を動かされ、本格的に農業を始める決意をしました。

今は、野菜総括担当として栽培管理・出荷調整などを担っています。日々の農作業は楽ではありませんが、仲間がいるのは心強く、いろいろなことを学べます。みんなの応援でこの活動が実を結び、地元がタマネギの名産地となって、次世代へとつながる流れが構築できるよう尽力します。

農の未来を担う！ 新しいチカラ Vol.4

矢神毎戸営農組合（矢掛町）
髙月 直明さん（65）

ここから簡単アクセス！

暑さを乗り切ろう 酢を使い料理教室

津山女性部鏡野支部は6月中旬、家の光料理教室を開きました。大興産業(株)の栄養士を講師に、疲労回復作用のある酢を使った料理5品を調理しました。部員は「家でも簡単にでき、とてもおいしい。夏バテ予防に活用したい」と話しました。

夏野菜と酢を使った料理に挑戦する部員

1粒500円玉大 付加価値で高値 ピオーネ「誉乃(ほまれの)AKASAKA®」

「一番小さな粒でも500円玉以上の大粒」と話す是友部会長

赤坂ぶどう部会が産地の活性化を目指しブランド化したニューピオーネ、「誉乃AKASAKA®」が高値で取引されています。

赤磐市の選果場では、房形がよく1粒の大きさが500円玉大のものを1房ずつ非破壊糖度計で測定。高糖度で独自の基準を満たしたものだけを「誉乃AKASAKA®」として出荷しています。GAPにも取り組み、チェックシート・管理日誌の提出を義務付けるなど安全安心な栽培で、さらに付加価値をつけています。

7月末まで主に関西・岡山市場へ出荷します。同部会の是友(これとも)隆行(たかゆき)部会長は「色づきも実太りも良好」と話し、「全体の5%と基準を満たすものはまだ少ない。増産を目指したい」と意気込みます。

旬を目前に 貨客混載の充実を 駅ナカで農産物販売

びほく産の新鮮食材を手に取る県外からの観光客

びほく統括本部は6月初旬から、JR西日本岡山支社やヤマト運輸などとタイアップした貨客混載を再開しました。アスパラガスやハウストマトなど約10品がJR岡山駅構内の駅ナカ店舗に並びました。愛知県から観光に訪れた夫婦は「新鮮な岡山の野菜が帰りぎわに買えるのは、鮮度を損なわないのでとても魅力的」と野菜を手にしていました。

今後は旬を迎える夏秋トマト「鬼退治桃太郎トマト」やブドウ「天空の実り®」など特産を中心に県南大消費地へ届けます。

ソリダゴ12月まで 添え花、仏花に人気

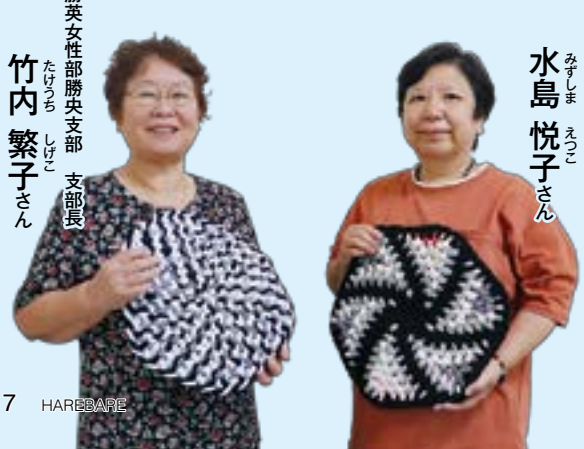
真庭市で蒜山花卉部会が生産するソリダゴの出荷が本格化しています。11戸が約70アールで栽培し、12月まで地元や関西の市場へ出荷します。

ソリダゴはアレンジメントの添え花や仏花に人気で、円すい形に小さな花をつけます。冷涼な気候と共同選花で品質のそろいがよく、市場から高い評価を得ています。部会の石田勉(いしだつとむ)会長は「生産者の高齢化が進んでいるので担い手確保に力を入れたい」と話します。

ソリダゴの出来を確認する石田会長

わたしたちの考える SDGs
～仲間とともに未来をひらく～

捨て糸を座布団に



勝英女性部勝央支部 支部長 竹内(たけうち) 繁子(しげこ)さん

水島(みずしま) 悦子(えつこ)さん

コロナ禍でなかなか思うような活動ができない中、私たち勝英女性部勝央支部では、感染症対策を講じながら健康教室や料理教室などさまざまな活動をしています。

とりわけ、力を入れているのは手芸教室です。繊維工場から、靴下を作る過程で出る捨て糸を購入。カラフルな捨て糸から好きな色を選んで編みこみ、オリジナルの座布団を作りました。座布団は最寄りの勝央支店に寄贈。支店待合室の椅子に敷いていただいています。利用者から、「かわいい」「座り心地がいい」という声が届けられていると聞き、とてもうれしいです。

いろんなアレンジができるので、今後は鍋敷きやコースターづくりにも挑戦したいです。

誌面でご紹介できなかった最新トピックスは **ホームページ** でも紹介しています!

農業にエール 元気に!

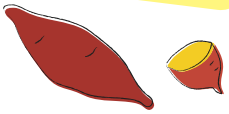
授業、料理教室などで
となどを聞きました。

おいしい野菜がとれますように!

野菜づくりを教えてもらったよ!

真庭市立
落合こども園

真庭市立
落合小学校



秋の収穫が楽しみ!

矢掛町立矢掛小学校

嶋山 愛友里(しまやま あゆり)さん

齋藤 大河(さいとう たいが)さん

おいしいサツマイモを早く食べたいな!

守谷 一華(もりや いちか)さん

矢掛町立川面小学校

小林 勇葵(こばやし ゆうき)さん

おかやまコープの組合員のみなさんが田植えを体験しました!

勝英統括本部

特大トウモロコシがとれたよ!

清音
アグリキッズスクール

大河 桜太郎(おおかわ さくたろう)さん　祥次郎(しょうじろう)さん

大好きなトウモロコシ!とれたてが一番!

木村 拓椰(きむら たくや)さん

寺阪 結月(てらさか ゆづき)さん　宮野 心温(みやの こはる)さん

青壮年部のお兄さんたちとタライに稲を植えたよ!

鏡野町立芳野こども園

稲刈りが楽しみ!

津山市立鶴山小学校

三宅 瑛太(みやけ えいた)さん　山本 紗彩(やまもと さあや)さん　本田 朋輝(ほんだ ともき)さん

監修＝JCA(日本協同組合連携機構)

未来を拓く協同組合 JAと農業

朝ごはんを食べないと勉強がはかどらないって本当?

農林水産省の公表データによれば、2019年度の朝食を欠食する(「週に2~3日食べる」及び「ほとんど食べない」)若い世代の割合は、25・8%を占めています。

昨今、糖質制限などがメディアなどで取り上げられていますが、白米やパンなど糖質を摂らないと、脳がエネルギー不足となり勉強や仕事がはかどらないと言われています。エネルギーは体内にたくさん蓄えておくことができないため、食事から補給する必要があり、朝ごはんを食べないとエネルギー不足に陥るのです。実際、朝食を食べたかどうかでテストの点に違いが出たという調査結果もあるほどです。

世界情勢により小麦粉が高騰する中、米食の価値を見直す機運が高まっています。ご飯は糖質のほかにビタミンやミネラルなどの栄養素をバランスよく含んだ優秀な食材です。

JAでも地域農業の根幹でもある米の消費拡大を目指して、毎月15日を「Happy Rice(ハッピーライス) day(デイ)」と定めPRに努めているほか、直行便事業を通して管内自家施設から新鮮な米を直売所に届けて販売し、地産地消を後押ししています。

直行便事業で米を販売

"農業"や"食"ってこんなにおもしろい!!

地域を

JAの食農体験や出前
感じたこと、学んだこ

庄さくらフットベースボール優勝おめでとうございます！

JA杯 春季フットベースボール大会

岡山西統括本部管内の8チーム約120人が、青空の下で熱戦を繰り広げました!

おいしいお米になあれ！

新見市立新見中央認定こども園

新見市立
新見南小学校

新見市立
新見南認定こども園

新見市立
新見保育所

美作市立大原小学校

女性部の地産地消料理教室

『家の光』掲載のレシピを活用し、「ミョウガ寿司」に挑戦。輸入食材などが高騰しているので、今こそ地産地消や伝統食に再度目を向ける時かもしれませんね。

びほく女性部津川支部

新見市立萬歳（まんざい）小学校

今年度で閉校となる萬歳小学校。最後の収穫祭に向け、青壮年部のお兄さんたちとハロウィン用のカボチャの苗を植えました。

アグリ魅力化プロジェクト

将来の担い手確保のため、農業の魅力を発信しています。
今回は高校生（左）が児童と一緒に夏野菜の植え付けをしました。

岡山県立
勝間田高校

あぜみち川柳

天晴れ

汗吸った　元気な土に　励まされ　原　健裕さん

トマト苗　十本植へた　一人者（ひとりもん）　坂出　和巳さん

プランター　去年の種で　密になり　杉山　ヤスコさん

朝一番　きゅうりトマトに　ご挨拶　鈴木　愛子さん

田上りの　早苗日毎に　色づきて　万代　芙美子さん

梅雨明けや　待ったなしの　水不足　ハッチャンさん

カラスより　先に収穫　とうもろこし　小泉　彰さん

テーマ

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や直売所の楽しみやエピソード、農の風景など

投稿方法

作品（楷書で漢字にふり仮名を）・ペンネーム・住所・氏名（ふりがな）・年齢を記載の上、投稿してください。ペンネーム・匿名希望のない場合は本名を掲載します。本誌23ページ「みんなの広場」の応募方法をご確認の上、JA晴れの国岡山総務企画課「晴ればれ」係宛に送付してください。誌面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますこと、ご了承ください。

理事会だより
経済事業改革ほか

令和4年度6月期理事会を6月28日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

【附議事項】第1号議案：令和3年度3月末監事監査指摘事項に対する回答書／第2号議案：理事報酬の配分／第3号議案：【岡山東統括本部】山陽支店・赤坂支店統合及び赤磐地区経済事業拠点再編に伴う新山陽支店（仮称）建設及び用地取得／第4号議案：【岡山西統括本部】【津山統括本部】補助事業を活用した農業生産拡大、効率化にかかるリース資産の取得／第5号議案：【新見統括本部】補助事業を活用したぶどう選果場施設の再編整備／第6号議案：令和2年産米穀最終精算（備蓄米）／第7号議案：【津山統括本部】旭車輌センター・旭給油所経営譲渡／第8号議案：共済事務センター統合（令和5年4月再編）／第9号議案：サニープロジェクトによる経済事業改革（販売事業⬇広域営農経済センター4ブロックを前提に整備、生産購買事業⬇農業関連資材を中心に品揃えして事業継続を前提に整備、生活購買事業⬇収支均衡での事業継続を前提とし、赤字事業所は撤退を検討する等の改善施策方針を策定）／第10号議案：職制規程の一部変更／第11号議案：出資口数の減口（組合員の申し出による）

【報告事項】令和4年度5月末事業実績／その他（令和4年度夏期手当等の妥結／計量設備更新に伴う値引交渉結果）

新代表に赤松さん（津山青壮年部）
JA岡山県青壮年部協議会

岡山県青壮年部協議会の会長に、津山青壮年部の赤松英雄（あかまつ ひでお）さんが就任しました。赤松さんは「岡山県青壮年部代表として全国へ盟友の声を届けたい。県役員共々、ポリシーブック（政策集）を使った提言、盟友の営農スキルアップなどの活動をしていく」と意気込みます。

組合員を募集
農業を守り豊かな地域づくりを

JA晴れの国岡山は、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として「みんなが元気になる農業・地域の創造」を経営理念とし、「地域農業の振興」や「安全安心な農畜産物の供給」「豊かで暮らしやすい地域づくり」に取り組んでいます。この理念に賛同し、事業利用を通じて農業を守り応援をしていただける新たな組合員を募っています。

●組合員になれる方

県内にお住まい、またはお勤めで、当JAの事業を利用される方（定款第12条～第14条を満たす個人・団体）。出資1口（1000円）からお受けします。

●お問い合わせ・加入手続き

お近くの支店でお申込みいただき、資格要件を満たし、JAで承認後、正式加入となります。

組合員の方へ
届け出事項に変更はないですか

左記に該当する方は書面で変更手続きをお願いします。

●組合員の死亡
●農業を廃業された方
●ご結婚などにより名前が変わった方
●転居により住所が変わった方

このほか、届け出事項に変更がありましたらお近くの支店までご相談ください。

【予告】Web農業簿記システム移行
確定申告の作成など機能充実

令和5年3月末をもって「らくらくWeb簿記システム」のサービス提供を終了します。令和5年6月からは、ソリマチ社「Web記帳業務支援システム」または「記帳利用（科目別取引明細表）」をご利用ください。「らくらくWeb簿記システム」をご利用の方で、**令和4年12月31日までに**「Web記帳業務支援システム」への切り替えを申し込みいただいた方は、減価償却資産や期首残高などの必要なデータを引き継ぐことができます。ご利用の申し込み方法・料金など詳しくは、本店営農部営農振興課（086-476-1837）へお問い合わせください。

自民・福田総務会長へ訴え
生産資材の高騰が農家直撃

新型コロナウイルスやウクライナ危機の影響で肥料・燃油などの生産資材の高騰が問題となる中、JAグループ岡山は「自由民主党福田達夫総務会長を囲む会」をJA本店で開きました。直面する農政課題などの講演を受け、三木恭次副組合長は「離農を考える組合員が増えている。国の根幹をなす農業を守り、発展させるため、手助けをいただきたい」と訴えました。

※「令和4年度 重点指導項目啓発ポスター」（農林水産省）（https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/attach/pdf/index-4.pdf）を加工して作成

還付金詐欺にご注意ください！

電話で口座番号やキャッシュカードの暗証番号を聞き出し、本人になりすましてJAネットバンクを申し込み犯人の口座に振込をする詐欺犯罪が発生しています。

還付金を受け取るために**警察・市役所・金融機関・JAなどの職員が電話で口座番号・キャッシュカードの暗証番号といった重要情報を聞き出すことは絶対にありません。**不審な電話には一切答えずお切りください。

重要情報を伝えてしまった場合は速やかにお近くのJAへご相談ください。

6月17日 和牛子牛セリ市況
（JA全農おかやま総合家畜市場）

成　績　（税込）

性別		頭数	最高価格	平均価格	平均体重
雌	全体	123	1,324,400円	540,091円	290kg
去勢	全体	148	903,100円	691,722円	313kg
合計	全体	271	1,324,400円	621,994円	302kg

※飼料高で先行き懸念 前月比10%安

JAグループだから簡単！安心！安い！ JAでんきのお申し込み・ご相談はお近くのJAへ

Market talk
いちばなし

全農岡山県本部　東京事務所
所　長　別所（べっしょ）　和彦（かずひこ）

アレキ初売り1房7万円
需要回復し販売好調

6月2日、岡山県産「マスカット・オブ・アレキサンドリア（以下アレキ）」の販売が全国の主要市場で一斉に始まりました。東京青果においては初売り最高値として、1房大（750㌘）化粧箱に7万円（昨年6万円）、さらにシャインマスカット「晴王®」5㌔ロ赤秀7房に25万円（昨年赤秀8房11万円）の値が付き、ほかの商品も含めて東京都内の主要百貨店や高級果実専門店、海外などへ販売されました。

現在の果実販売状況ですが、海外への輸出は好調、国内における販売についてもコロナ禍前ほどではないものの、かなり近いところまで回復しています。

都内でこれまで続いていた新型コロナウイルスに関する全ての規制や制限が解除され、海外から日本への入国制限緩和によるインバウンド需要の復活も予想され、順調な販売が見込まれています。

近年、首都圏市場に対する岡山県産果実の出荷量は増加傾向ですが、まだまだ需要に対して供給量が不足しているのが現状です。特に、主要販売先である高級店舗や贈答、輸出需要だけでなく、ネット販売や高級スーパーに対する販路も拡大しており、市場からは幅広い規格の供給が求められています。

（上）千疋屋総本店日本橋本店でフレッシュおかやまによる宣伝販売／（下）東京青果果実売場でのアレキの初セリ

フレッシュ通信

職員の紹介を通じて、
JAの事業・地域の特徴をご紹介します。

和牛の飼育を志望し入組しました。3年目を迎え、JA直営牧場で繁殖牛や子牛の飼養管理を任されています。幼い頃から牛が大好きで、高校では生物生産科を専攻。実際に牛の世話をしたり、セリ市や共進会に参加したり、実践・体験的な学習を通じて将来の仕事にしたい気持ちが強くなりました。

牧場では日々たくさんの牛に触れ、出産や病気などと向き合いながら経験を積んでいます。携わった子牛がセリ市で高く評価され、農家から喜ばれるよう育成に奮起しています。

10月に開かれる全国和牛能力共進会に向け、出品候補牛の健康状態や発育などの管理にも気が抜けません。未熟で分からないことばかりですが、「千屋牛®」振興の一端を担い、地域の力になれるよう情熱を注ぎます。

新見統括本部
広域営農経済センター
新見畜産事務所
藤井（ふじい）　孝則（たかのり）

役員が
おじゃまします

代表理事副組合長　三木　恭次（みき　けいじ）

自己改革実践中！

JA晴れの国岡山は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

「農業を元気に」「農家を元気に」「地域を元気に」

倉敷市のショウガ産地を訪問し、収穫を体験しました。スコップで土をかきわけ、株ごと引き抜くのは想像した以上に力のいる作業です。やわらかな土づくりで負担を軽減するなど、日々作物に向き合い、きめ細かく栽培管理する苦労や熱意を感じました。

私たちが目指すものは、岡山の「農業を元気に」「農家を元気に」「地域を元気に」することです。地域の多様な農業を認識し、安心して営農できる基盤を強化するため、新たな農業振興計画を策定しました。柱の一つには「地域の農業振興なくして、JAの存在意義なし」を掲げ、地域農業の維持と存続、発展にこれまで以上に力を入れて取り組んでまいります。

生姜ハウス部会の藤田和義（ふじた かずよし）部会長（左）の畑を訪問。爽やかな香りの「新ショウガ」は玉太りも良く最高の出来。

推進部がお届け

目からウロコ！くらしのお得情報

9月と10月は、JAカードでのJA直売所ご利用がお得!!

合計15%もお得に!!

通常の5%割引に加え、期間中はご利用金額の
10%相当をポイント還元!!
（対象期間2022年9月1日～10月31日）

JAカードはそのほかにもお得がいっぱい!!

- JA-SSご利用で　2円/ℓ　請求時割引
- JA経済店舗ご利用で　+2%　ポイント還元
- Aコープご利用で　+2%　ポイント還元

新規入会キャンペーンも実施中です。ぜひこの機会にJAカードの入会をご検討ください。
なお、カード発行までに2～3週間程度かかりますのでご了承ください。

※還元上限は2,500ポイント（1万円相当金額）とさせていただきます。ポイント付与時期は、2023年1月です。
※一部対象外の店舗があります。詳しくは、お近くの支店・直売所にお尋ねください。

読者のみなさまから
お寄せいただいたイラストや
お便りをご紹介!!

みんなのひろば
MINNANO HIROBA

▼農業に魅力を感じ、自ら就農したという人のパワーはすごいですね。どんどん農業のイメージを変えてほしいです。
真庭市・いえねこさん(60代)

▼広報誌の表紙に子どもの同級生を発見して、後継者として頑張っている姿に頼もしく思いました。おかげ様で毎年おいしいブドウが食べられます。果物天国の地域で、これから旬の時期が楽しみです。感謝!
倉敷市・石井 美智江さん(60代)

▼「ピオーネ」を栽培している農家のお手伝いをさせてもらっています。一房のブドウが収穫できるまでに、これほどたくさんの作業があるとわかり、ますますブドウがかわいらしく思えてきました。
真庭市・山野 みさこさん(50代)

▼「地域を元気に」のコーナーを見て「みんないろんなものを作る手伝いをしているんだなぁ」と思いました。私もキュウリやナスを育てて収穫して食べています。
美作市・河副 ゆなさん(10代)

▼推し名物まつりの「ななちパン」は子どもが小さいときから食べていました。懐かしい! おいしいです。みとまファームさん頑張って!!
高梁市・かぼちゃさん(50代)

▼「桃太郎トマト」と「美星ハム」のサンドイッチが楽しみです!
津山市・岡田 真二さん(40代)

▼早い梅雨明けで水不足が心配です。毎朝、高梁川を見ていますが、流れが悪いので鮎の育ちも心配しています。
新見市・船越 春美さん(70代)

▼母が家庭菜園コーナーを参考に野菜づくりに励んでいます。新鮮な手づくり野菜のおかげで子どもたちが野菜好きになりました。
美作市・小松 勝幸さん(30代)

▼我が家は兼業農家で米を作っていますが、今後の肥料価格や機械の値上げが心配です。就農をされる方の応援をしたいです。
倉敷市・小田 敬子さん

▼「マスカット・オブ・アレキサンドリア」は鮮やかな黄緑色できれいですよね。家の近所にも食べ頃になっているマスカットを見ました。ブドウ大好きなのでいつか栽培してみたいです。
浅口市・清水 薫さん(40代)

▼農業＝人の命を守る仕事。食は大切! 米は安すぎます!
美咲町・重歳 博美さん(60代)

▼他県でのモモの大量盗難被害のニュースを見ました。生産者の方がかわいそうです。岡山県でも注意しないといけないと思います。
矢掛町・岡田 玲子さん(60代)

植物の不思議!?

土に種が混ざっていたのでしょうか? なんと! 植木鉢の底の穴から別の花が咲きました。
真庭市・森谷 悦和さん

標高約450メートルの山間に県指定の絶滅危惧Ⅱ類に指定されているモリアオガエルが命を紡ぎます。防火水槽のフェンスに、大きさ約15センチ前後でふわふわのメレンゲのような白い泡状の卵のうが20個ほどぶら下がっていました。見上げると5～6メートルの上の枝にも4個ほどの卵塊があり、生き延びる知恵を窺い知ることができます。
高梁市・茅原 直光さん

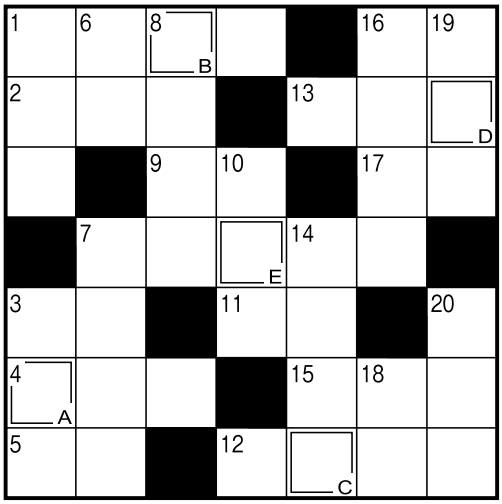
PRESENT QUIZ

パズルに答えて、
特産品をGetしよう!

正解者の中から抽選で
15人の方に
「白桃」をプレゼント!!

※写真はイメージです

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?　(出題／ニコリ)



ヨコのカギ

1 夏に咲く黄色い花
2 行きは良い良い――は怖い
3 レタスやゴボウは――科の植物です
4 すし屋の符丁でお茶のこと
5 能あるタカは隠してる?
7 北海道の北部にある島。昆布やウニが名産品です
9 停留所に止まります
11 漢字などの横に小さな文字で振ります
12 海からそよそよと――が吹いてきた
13 英国の通貨単位です
15 魚の下ごしらえをするときに取ることもあります
16 草を刈るときに使います
17 翼を持っています

タテのカギ

1 東海道新幹線の愛称の一つ
3 天気予報で使う単位はヘクトパスカル
6 食事の――にしっかりと手を洗った
7 ゾウガメのように水の少ない所でも暮らせる亀
8 綿あめの芯棒に使うことも
10 お化け屋敷で――満点の演出を楽しんだ
14 胸びれを広げて滑空します
16 東北三大夏祭りの一つ、秋田――祭り
18 固体と液体を分ける方法の一つ
19 マンションの賃貸情報に載っています
20 「姿勢が悪いよ」と言われやすい体勢

プレゼント商品はオンラインショップでも買うことができます!!
◀◀◀Webサイトはコチラから

JAオリジナル商品!! この機会にぜひご賞味ください。

JA共済の地域貢献活動

下記の商品はどれも、JA共済の地域貢献活動事業を活用し開発しています。

特産と濃厚なジャージー牛乳の味わいが口いっぱいに広がります!!

じぇいえいら〜と(1個120㎖)

- 岡山県産白桃　(400円)
- 作州黒豆きなこ(300円)
- 久米南柚子　(350円)

山手直売所など一部直売所で販売。詳しくは本店営農部(086-476-1837)

しっとり食感と白桃風味がやみつきに!

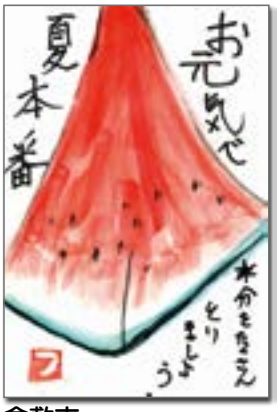
オリジナル白桃バームクーヘン

1ホール1,850円。別途注文で、誕生日や結婚式の引出物として、「Happy Birthday」「寿」の焼印サービスもあります。

詳しくは、お近くのJAまたはおかやまキムラヤ各店の店頭ポスターをご覧ください。

倉敷市　小郷 友子さん

鏡野町　杉井 秀子さん



倉敷市
笠原 富美子さん

津山市　近藤 房子さん

井原市
西村 ルリ子さん

みなさまからの「写真」「イラスト」「お便り」「川柳」のご応募を大募集しています。ご意見・ご感想もお待ちしています!!

応募フォーム・FAXでの応募もOK!!

応募フォームができました! コチラから

応募方法

ハガキ・応募フォーム・FAXのいずれかに、必要事項をご記入いただき、ご応募ください。

63円切手

〒713-8113
倉敷市玉島八島1510-1
JA晴れの国岡山
総務企画課
「晴ればれ」係

- 郵便番号・住所
- 氏名
- 電話番号
- 年齢
- パズルの答え
- よかったコーナー(複数回答可)
- その他ご意見・ご感想

または

応募フォームURL:
https://www.ja-hareoka.or.jp/form/harebare_present/
FAX:086−476−1840

クロスワードパズル先月号の答え

「アブラゼミ」

応募総数 871件

※誌面の都合上、お便りのすべてを掲載できない場合がございますがご了承ください。

※みなさまからいただいた個人情報は、投稿コーナーへの掲載や当選賞品発送、JA事業運営以外では使用いたしません。

※投稿写真は、人物など被写体に関する肖像権などに触れる可能性のないものに限ります。

※記載氏名につきましては、ペンネームをご希望の方は、ご自身のペンネームを必ず明記してください。

※投稿いただいた作品は返却いたしません。

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※投稿いただいたハガキなどは、投稿いただいた時点で掲載可能承諾済とさせていただきます。

応募締切:2022年8月10日(水)必着

あとがき

某新聞の写真コンテスト。5月の最優秀賞は、満開の桜の下で男性が子供を高い高いする写真を、真下から納めた1枚。見たとき思わず「わぁ!」と声が出ました。審査員からは「このお子さんは将来この写真を見て涙を流すでしょう」という講評。JAの広報は記事も書けば写真も撮ります。写真は中身を伝える重要なツール。このコンテストの写真のように、みんなを元気に、笑顔に、会話が聞こえてくるような写真が撮れたらいいなと思い、シャッターを切っています。(江森)

本誌に関して

新型コロナウイルス感染拡大で厳しい状況が続いていますが、本誌は誌面を通じて厳しい状況の中でも生産者の笑顔や農畜産物・景色のすばらしさをお伝えすることで、読者の方に一瞬でも笑顔になってもらいたいと願っています。一日も早い終息を願い、その時にはぜひ出かけてほしいとの思いで編集しておりますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。なお、本誌掲載の商品は総額表示で表記しています。

笑味ちゃんクッキング

キュウリ漬け

［材 料］

■キュウリ……1～1.3kg(7～10本分)
■ショウガ……60ｇ
A
- しょうゆ……400mℓ
- 砂糖……170ｇ
- みりん……60mℓ
- 酢……60mℓ

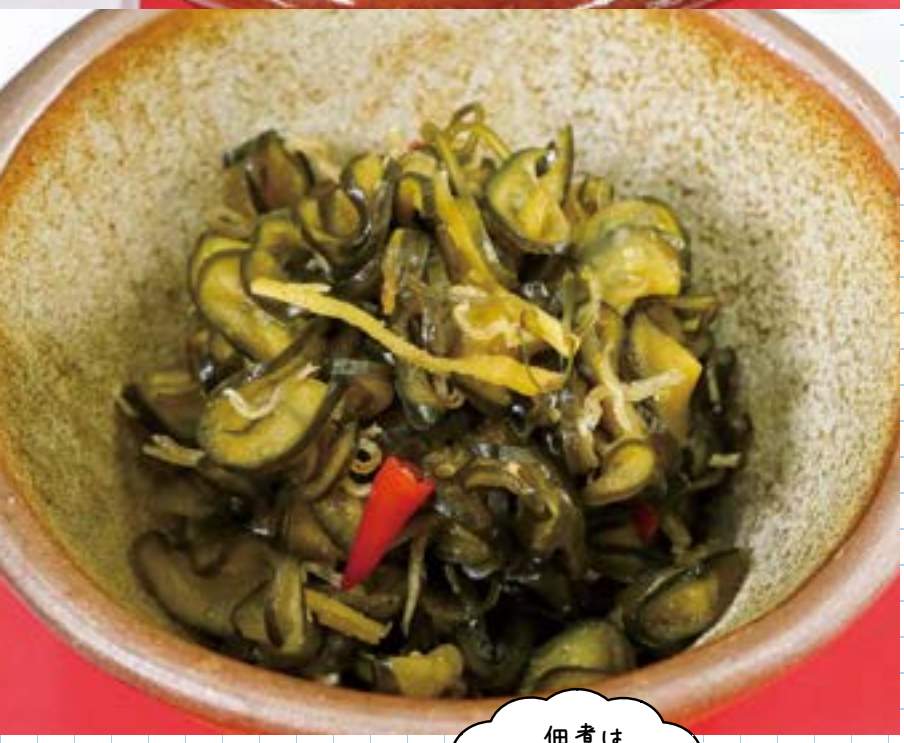
■ゴマ……大さじ3

※お好みでサンショウの実を入れるのもおすすめです！

［つくりかた］

1. キュウリを1～2cm幅に輪切りにする。
2. ショウガを千切りにする。
3. Aと②を鍋に入れ、沸とうするまで火にかける。
4. ふつふつと煮立ってきたら、一度火を止め、熱いうちにキュウリとゴマを加えて、箸でくるくるとかき混ぜて味をなじませる。ある程度冷めたら完成。

※日持ちの目安は、冷蔵庫で保存して約2週間です。作ってすぐに食べられますが、1週間程しっかり浸けてから食べてもおいしくいただけます。



キュウリの佃煮

［材 料］

■キュウリ……1.5kg(8～10本分)
■塩……15ｇ
A
- 三温糖……100ｇ
- しょうゆ……100mℓ
- 五倍酢(穀物酢)……20mℓ

エーコープ商品「五倍酢(穀物酢)」を使いました!!

- 粉末だし……大さじ1
- 刻みコンブ……5ｇ

■ショウガ……10ｇ
■赤トウガラシ……1本
■ちりめんじゃこ……25ｇ

［下準備］

1. キュウリは、ごく薄い輪切り、または半月切りにする。
2. 切ったキュウリを器に入れ、塩を加えて重石をし、一晩漬ける。しっかりと漬かったら、水気を絞る。

※絞ったあと、キュウリの重さが1kg以下になるようにしておく。

［つくりかた］

1. ショウガは千切りにし、赤トウガラシは種を出して2～3等分に切る。
2. 鍋にAと①を入れて煮立て、キュウリとちりめんじゃこを加える。
3. 煮汁がなくなるまで煮詰めたら完成。

※かつお節やゴマなどを加えると、より一層栄養バランスのいい常備菜になります

RSK「笑味ちゃん天気予報」古米(ふるまい)リポーター(左)と津山南部アグリセンター矢木(やぎ)靖子(やすこ)職員

晴ればれ
Vol.28　2022年　8月号
発　行　晴れの国岡山農業協同組合　〒713-8113 倉敷市玉島八島1510番地1
編　集　総務企画課　TEL.086-476-8092　https://www.ja-hareoka.or.jp/
発行日　2022年7月20日発行(毎月20日発行)
ホームページ随時更新中!!
JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。